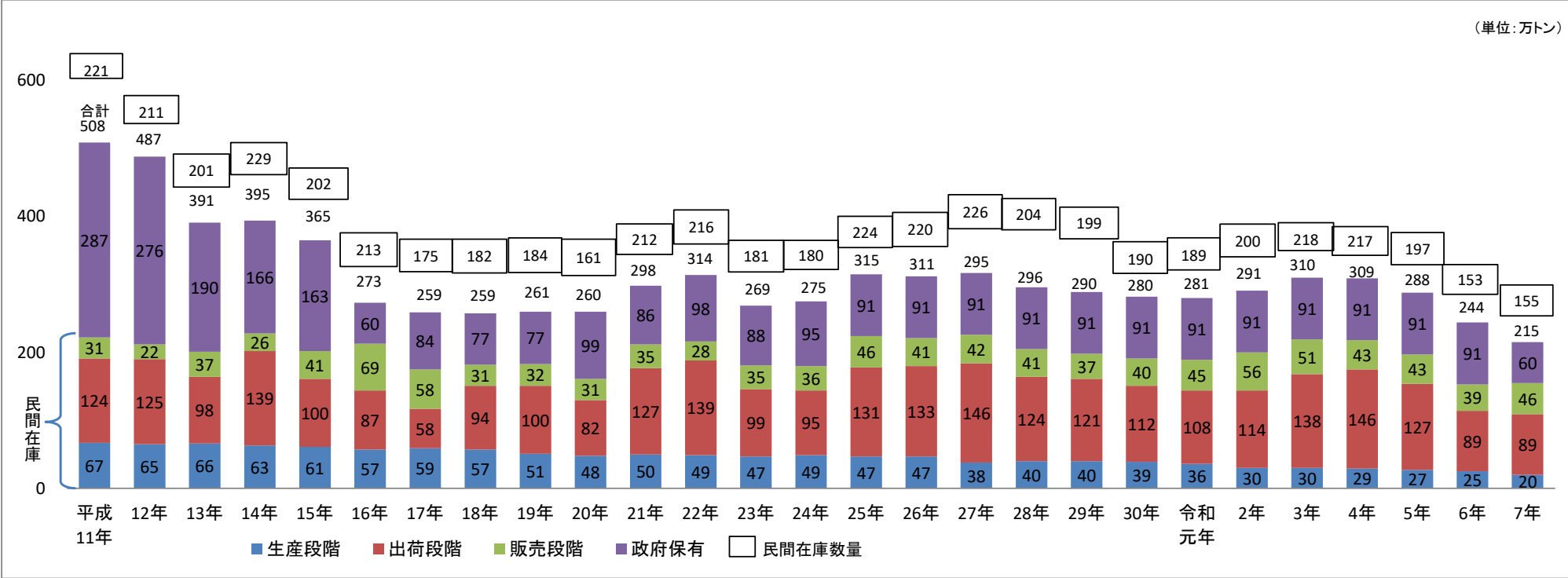


Ⅲ－14 政府及び民間流通における6月末在庫の推移



資料：「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」参考統計表（農林水産省）、「米をめぐる関係資料」（農林水産省）

(注の原文は農林水産省による)

注1：うるち玄米及びもち玄米の値である。

2：各年の民間在庫量において、

① 平成 16 年以降については、年間玄米取扱数量 500 トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。

② 平成 15 年については、

・ 販売段階の在庫量は、年間玄米取扱数量 500 トン以上の旧登録卸売業者と 1,000 トン以上の旧登録小売業者の数量である。

・ 出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量 500 トン以上の業者の数量である。

③ 平成 14 年以前については推計値であり、

・ 販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。

・ 出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。

④ 生産段階の在庫量は、平成 11 年～平成 21 年は「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量であり、平成 22 年～平成 30 年は「生産者の米穀在庫等調査」を基に算出した在庫量である。令和元年は、「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。令和 2 年～令和 4 年は「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量である。令和 5 年については、「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、「利用上の注意」として、本調査を時系列比較する際は、変更点に留意する必要がある旨が記載されていることを踏まえ、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。

3：平成 26 年の出荷段階の在庫量は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入数量 35 万トンを含んでいない。

4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある